

令和 7 年度 第 1 回区自治協議会会長会議 ※会議概要		
日 時	令和 7 年 6 月 1 0 日（火）午前 1 0 時 0 0 分 ～ 午前 1 1 時 3 0 分	
会 場	新潟市役所本館 3 階 対策室 1	
出席者	会長	坪木 俊郎 北区会長、佐藤 清 東区会長、 山岸 希 中央区会長、中野 高子 江南区会長、 渡邊 彩 秋葉区会長、関川 秀明 南区会長、 風間 一夫 西区会長、吉田 金豊 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	1 名	
主な議題	1 開会 2 自己紹介 3 区自治協議会会長会議について - 資料 2「区自治協議会会長会議について」及び資料 3「新潟市区自治協議会会長会議要綱」に基づき、同会議の概要について、事務局から説明がありました。 4 座長の選任について - 互選の結果、吉田 西蒲区会長が座長に選任されました。 - また、座長が会議に欠席した際に、座長職務を代行できるよう副座長を 1 名選任することについて、座長から提案があり、承認されました。 - 互選の結果、中野 江南区会長が副座長に選任されました。 5 議題 （1） 各区自治協議会について - 資料 4「各区自治協議会について（第 1 0 期委員構成、令和 7 年度自治協提案事業）」に基づき、第 9 期からの委員構成の変更点や、今年度取り組む区自治協議会提案事業の概要などについて、各会長から報告がありました。 【各会長からの報告内容】※西蒲区～北区の順に報告 （西蒲区） 1 8 人の委員が入れ替わり新しくなった。 - 総務部会、まちづくり・産業部会、保健福祉部会の 3 つの部会があり、観光とスポーツレクリエーションのまちというテーマに向けた取り組みを推進している。 - 広報委員会では年 2 回、事業の取り組みや、区のお出かけスポットなどを紹介する広報紙を発行している。 （西 区） - 第 1 部会では防犯、防災、環境を担当、第 2 部会では保健福祉、文化を担当、そして第 3 部会では産業、区の魅力発信を担当している。 - 特別部会として、アートフェスティバル部会があったが、総務特別部	

- 会に名前を変え、今後どのような形で進めるか検討している。
- ・広報紙は印刷を外部委託している。
 - ・3か所の高校と協力し、自転車に鍵をかけ盗まれないよう呼びかける活動を行い、効果が出た印象があった。しかしまた盗難が増えたという話があるので、今年も力を入れていきたい。

(南 区)

- ・第1部会では、自治協主催のイベントに防災・防犯ブースを設置し、防災・防犯関係の啓発をしていく、「安心・安全意識啓発事業」を第3部会と合同で行う。また10月をクリーンアップ作戦とし、区全体で清掃を行った。
- ・第2部会では、「南区家族ふれ愛事業」で展覧会の実施や、「こどもの夏休み宿題見守り事業」でボランティアの人が宿題の手伝いをこどもと交流しながら行っていく。
- ・第3部会では、「南区まちなかにぎわい創出事業」で、農産物や料理を提供する取り組みを行う。
- ・南区まちづくり活動サポート事業では、区のまちづくりや活性化に向け5月から活動を始めた。

(秋葉区)

- ・2号委員の中に放課後児童クラブの代表者や、中学校コーディネーターがおり、こども真ん中の区を作っていくところに今年度は力を入れている。
- ・地域課題解決につながる事業を区民から募集し、区自治協議会と協働しながら取り組みを支援する「きらめきサポートプロジェクト」を実施。
- ・各コミュニティ協議会で暮らしやすさに関する調査を行い、そこで出てきた課題に対して解決のための事業を提案してもらう。
- ・公共交通について、特にこどもと高齢者に注力し検討していく。
- ・おとな大学によって、地域の魅力を発掘し、その魅力に気づくための講座を行う。
- ・区自治協議会の認知度向上に向け、コミュニティFMを活用した広報活動に取り組む。
- ・「こども真ん中プロジェクト」で冬にこどもが楽しめるイベントを開催する。

(江南区)

- ・委託事業をリニューアルし「江南区まちづくりサポートプロジェクト」をスタートさせた。申請された事業を部会に振り分け、自治協委員が審査する。R7年度は6事業を採用予定であり、区内外の団体の多様なアイデアを活用し、地域課題の解決を促進していきたい。
- ・まちづくり部会、環境教育部会、安心安全部会の3部会と、必要な際は特別部会を発足している。
- ・部会の内容が同じようなパターンになってしまうため、1年目は調査を行い、2年目で活動するように変更する。

(中央区)

- ・現委員数が32人のうち、新任委員は18名。長くても3期までで任期を終える委員が多く、いろんな人が携わって、様々な活動を知ってもらうため、長く活動する委員があまりいないというのが特徴。

- ・4部会に分かれている中に40代以下の委員が1人ずつ入ることで、若返りを図ることをテーマにスタートした。
- ・新たなメンバーで自分たちの地域の課題を見極め、それを深掘りし、調査効果を検証するため、モデル事業などを行いたい。

(東 区)

- ・委員構成については、2号、3号委員に多くの女性からの参加を得ている。
- ・提案事業については、1年目は地域課題の調査研究を行い、2年目で調査研究を踏まえた事業を実施する。
- ・防災部門の第1部会、福祉教育文化部門の第2部会、産業観光部門の第3部会に分かれて活動。その他、広報紙編集部会を各部会から3名ずつで構成している。
- ・全体会議後にグループごとの意見交換会を設けるなど、委員同士が意見交換をしやすい雰囲気を作っていく。

(北 区)

- ・委員は28名のうち新任委員が14名。
- ・地域づくり部会では、商工業、農業、大学との連携、交通防災関係の事業に取り組む。
- ・福祉教育部会では、健康福祉、子育て、教育、協働、防犯交通安全の関係で活動する。
- ・自然文化部会は環境保全、自然環境の活用、観光、スポーツ振興、浸水対策等を取り上げ、研究を行う。
- ・1年目の今年度は調査研究を行い、テーマを決め、次年度以降に具体的な提案にまで結び付ける活動を行う。

(2) 令和7年度全体委員研修会について

- ・資料5「令和7年度全体委員研修会について」に基づき、事務局からの提案を踏まえ、研修テーマ及び開催形式の方向性について意見交換が行われました。
- ・開催時期は、9月～10月の期間で調整を行うこととしました。
- ・開催形式については、事例発表と意見交換を合わせた方向性で検討することとしました。
- ・研修テーマの方向性については、意見交換の内容を参考に、事務局で検討を進めることとしました。

【主な意見】

- ・意見交換の時間を十分にとっていただきたい。
- ・事例発表の数を絞って、話を聞いた後にグループに分かれて意見交換するのがいいのではないか。
- ・自治協とは何か、というテーマは、初歩的だが各区共通のテーマになるのではないか

- 自治協の認知度を上げるため、委員だけではなく一般参加もありの研修を行うのはどうか。
- 意見交換を行う際は、任期の異なる委員もいるが、はっきりと分けることはしないほうがよいのではないか。

(3) その他

- 次回の区自治協議会会長会議の開催日程を調整し、令和8年1月16日（金）に決定しました。

6 閉会

会議資料

□次 第

□資料1：区自治協議会（第10期）会長名簿

□資料2：区自治協議会会長会議について

□資料3：新潟市区自治協議会会長会議要綱

□資料4：各区自治協議会について（第10期委員構成、令和7年度自治協提案事業）

□資料5：令和7年度全体委員研修会について